

教科	科目	単位数	種別	年次	
芸術	音楽Ⅰ	2	必修科目	1年	
使用教科書	MOUSA1(教育芸術社)			担当者	

学習目標	芸術の幅広い活動を通して、各科目における見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。	
学習方法	・自己の表現意図や、鑑賞した音楽の良さについて、ワークシートやグループワーク等の言語化活動を通して、音楽的な見方・考え方に基づく思考力・判断力・表現力を養う。 ・実技活動やワークシートの活用を通して、音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受して表現したり鑑賞するための知識や技能を習得する。	
学習評価	育成を目指す資質・能力	育成を目指す資質・能力の評価内容
	1 基礎的・基本的学力	基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。
	2 課題解決能力	社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。
	3 情報活用能力	多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。
	4 自己表現力	目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。
	5 主体性	課題解決に向け、主体的に追究することができる。
	6 協働性	課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。
	7 自己理解	諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。
	8 社会貢献(社会参画)	地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。
	以上の観点をふまえ、 授業の取り組みや実技テスト、小テスト、提出課題などを総合的に評価します。	
担当者から		

月	大単元	単元(題材)	学習内容	重点評価事項(資質・能力)								単元(題材)の評価規準			評価方法
				1	2	3	4	5	6	7	8	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
4	A 表現	1歌唱	発声のトレーニング									創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体を使い方などの技能を身につけている。	歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫している。	主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	実技テスト、提出課題、小テストなどをもとに評価する。
5			校歌									・創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体を使い方などの技能を身につけている。 ・曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりを理解している。			
6			外国語の歌曲									・曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりを理解している。 ・言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりを理解している。曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体を使い方などの技能を身につけている。			
7			合唱									・様々な表現形態による歌唱表現の特徴を理解している。 ・他者との調和を意識して歌う技能を身につけている。 ・表現形態の特徴を生かして歌う技能を身につけている。			
8		2創作	読譜のトレーニング									・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。	・創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって創作表現を創意工夫している。	主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。	
9			リズム創作									・音素材、音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。 ・反復、変化、対照などの手法を活用して音楽をつくる技能を身につけている。			

10		3器楽	ボディパーカッション				○			○			○	・曲想と楽器の音色や奏法との関わりを理解している。 ・様々な表現形態による器楽表現の特徴を理解している。	・音楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫している。	主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。
11			リコーダーの基礎				○	○				○	・にふさわしい奏法、身体の使用などの技能を身につけている。 ・他者との調和を意識して演奏する技能を身につけている。			
12			リコーダーの応用				○	○				○	・表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身につけている。			
1	B鑑賞	1鑑賞	歌劇			○				○			○	次の(ア)から(ウ)までについて理解している。 (ア) 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり (イ) 音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わり (ウ) 我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴	鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、次の(ア)から(ウ)までについて考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 (ア) 曲や演奏に対する評価とその根拠 (イ) 自分や社会にとっての音楽の意味や価値 (ウ) 音楽表現の共通性や固有性	主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

教科	科目	単位数	種別	年次	
芸術	音楽Ⅱ	2	選択科目	2年	
使用教科書	MOUSA 2(教育芸術社)			担当者	

学習目標 学習方法	芸術の幅広い活動を通して、各科目における見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。				
	・自己の表現意図や、鑑賞した音楽の良さについて、ワークシートやグループワーク等の言語化活動を通して、音楽的な見方・考え方に基づく思考力・判断力・表現力を養う。				
	・実技活動やワークシートの活用を通して、音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感じて個性豊かな表現や主体的な鑑賞活動を行うための知識や技能を習得する。				
学習評価	育成を目指す資質・能力		育成を目指す資質・能力の評価内容		
	1	基礎的・基本的学力	基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。		
	2	課題解決能力	社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。		
	3	情報活用能力	多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。		
	4	自己表現力	目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。		
	5	主体性	課題解決に向け、主体的に追究することができる。		
	6	協働性	課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。		
	7	自己理解	諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。		
	8	社会貢献(社会参画)	地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。		
	以上の観点をふまえ、授業の取り組みや実技テスト、小テスト、提出課題などを総合的に評価します。				
担当者から					

月	大単元	単元(題材)	学習内容	重点評価事項(資質・能力)								単元(題材)の評価規準			評価方法
				1	2	3	4	5	6	7	8	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
4	A 表現	1歌唱	外国語の歌曲									次の(ア)から(ウ)までについて理解し、(エ)から(カ)までの技能を身につけている。 (ア) 曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果 (イ) 言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果 (ウ) 様々な表現形態による歌唱表現の固有性や多様性 (エ) 曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能 (オ) 他者との調和を意識して歌う技能 (カ) 表現形態の特徴や表現上の効果を生かして歌う技能	歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、個性豊かに歌唱表現を創意工夫している。	主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	実技テスト、提出課題、小テストなどをもとに評価する。
	B 鑑賞	1鑑賞	鑑賞									次の(ア)から(イ)について理解を深めている。 (ア) 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり (イ) 音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わり	鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、次の(ア)から(ウ)までについて考え、音楽のよさや美しさを深く味わって聴いている。 (ア) 曲や演奏に対する評価とその根拠 (イ) 自分や社会にとつての音楽の意味や価値 (ウ) 音楽表現の共通性や固有性	主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	
7	A 表現	2器楽	ギター									次の(ア)から(ウ)までについて理解している。 (ア) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果 (イ) 曲想と楽器の音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果 (ウ) 様々な表現形態による器楽表現の固有性や多様性	器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、個性豊かに器楽表現を創意工夫している。	主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	
	8		ギター									・次の(エ)、(カ)の技能を身に付けている。 (エ) 曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能 (カ) 表現形態の特徴や表現上の効果を生かして演奏する技能			

9		3創作 2器楽	琴								・素材，音を連ねたり重ねたりしたときの響き，音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について，表したいイメージと関わらせて理解を深めている。 ・次の（ア）から（ウ）までの技能を身に付けている。 （ア） 反復，変化，対照などの手法を活用して音楽をつくる技能 （イ） 旋律をつくったり，つくった旋律に副次的な旋律や和音などを付けた音楽をつくったりする技能 （ウ） 音楽を形づくっている要素の働きを変化させ，変奏や編曲をする技能 ・次の（エ）から（カ）までについて理解を深めている。	・創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら，個性豊かに創作表現を創意工夫している。 ・鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら，次の（ア），（ウ）について考え，音楽のよさや美しさを深く味わって聴くこと。 （ア） 曲や演奏に対する評価とその根拠 （ウ） 音楽表現の共通性や固有性	・主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
9			琴								（エ） 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり （オ） 音楽の特徴と文化的・歴史的背景，他の芸術との関わり （カ） 我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴		
10		2器楽	琴								次の（ア）から（ウ）までの技能を身に付けること。 （ア） 曲にふさわしい奏法，身体 の使い方などの技能 （イ） 他者との調和を意識して演奏する技能 （ウ） 表現形態の特徴や表現上の効果を生かして演奏する技能	器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら，個性豊かに器楽表現を創意工夫している。	
11			リコーダー独奏								次の（ア）から（ウ）までについて理解し，（エ）から（カ）までの技能を身につけている。 （ア） 曲想と音楽の構造や歌詞，文化的・歴史的背景との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果 （イ） 言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果 （ウ） 様々な表現形態による歌唱表現の固有性や多様性 （エ） 曲にふさわしい発声，言葉の発音，身体 の使い方などの技能 （オ） 他者との調和を意識して歌う技能 （カ） 表現形態の特徴や表現上の効果を生かして歌う技能	器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら，個性豊かに歌唱表現を創意工夫している。	主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。
12			リコーダー合奏										
1	B 鑑賞	1鑑賞	聴音								・ 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解を深めている。	鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら，音楽表現の共通性や固有性について考え，音楽のよさや美しさを深く味わって聴いている。	主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
2	A 表現	2器楽	トーンチャイム								・次の（ア）について理解している。 （ア） 様々な表現形態による器楽表現の固有性や多様性 ・次の（イ），（ウ）の技能を身に付けている。 （イ） 他者との調和を意識して演奏する技能 （ウ） 表現形態の特徴や表現上の効果を生かして演奏する技能	器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら，個性豊かに器楽表現を創意工夫している。	主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。

教科	科目	単位数	種別	年次	
芸術	美術 I	2	選択科目	2年	
使用教科書	美術1(光村図書出版)			担当者	

学習目標	芸術の幅広い活動を通して、各科目における見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。				
学習方法	美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞能力を伸ばす。				
学習評価					
担当者から	表現や鑑賞の過程での振り返りを大切に、「何を、どのように表したかったか」「作品にどのような印象を持ったか」など、自分の思いや考えを持ち、活動に臨んでください。また、前の学習成果を後の学習に生かすように心がけて取り組んでください。創造的な諸活動を通して、生涯にわたり芸術を愛好する心情と芸術文化を尊重する態度を育てましょう。				

月	大単元	単元(題材)	学習内容	重点評価事項(資質・能力)								単元(題材)の評価規準			評価方法
				1	2	3	4	5	6	7	8	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
4	A 表現	1絵画・彫刻	自然や自己、生活などを見つめ感じ取ったことや考えたこと、夢や想像などから主題を生成する。	○		○					○	・造形の要素の働きを理解している。 ・造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。 ・意図に応じて材料や用具の特性を生かしている。 ・表現方法を創意工夫し、主題を追求して創造的に表している。	・自然や自己、生活などを見つめ感じ取ったことや考えたこと、夢や想像などから主題を生成している。 ・表現形式の特性を生かし、形体や色彩、構成などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。	・主体的に絵画・彫刻の表現の創造活動に取り組もうとしている。	提出作品 授業態度等を総合的に評価。
5			表現形式の特性を生かし、形態や色彩、構成などについて考え、創造的な表現の構想を練る。	○		○					○				
6			意図に応じて材料や用具の特性を生かす技能を身に付ける。	○		○					○				
7			表現方法を創意工夫し、主題を追及して創造的に表す技能を身に付ける。	○		○					○				
8		2デザイン	目的や条件、美しさなどを考え、主題を生成する。	○		○					○	・造形の要素の働きを理解している。 ・造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。 ・意図に応じて材料や用具の特性を生かしている。 ・表現方法を創意工夫し、目的や計画を基に創造的に表している。	・目的や条件、美しさなどを考え、主題を生成している。 ・デザインの機能や効果、表現形式の特性などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。	・主体的にデザインの表現の創造活動に取り組もうとしている。	
9			デザインの機能や効果、表現形式の特性などについて考え、創造的な表現の構想を練る。	○		○					○				
10			意図に応じて材料や用具の特性を生かす技能を身に付ける。	○		○					○				
11			表現方法を創意工夫し、目的や計画を基に創造的に表す技能を身に付ける。	○		○					○				
12	B 鑑賞	1鑑賞	造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。				○	○			○	・造形の要素の働きを理解している。 ・造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。	・造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 ・目的や機能との調和の取れた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。	・主体的に作品や美術文化の鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。	
1			目的や機能との調和の取れた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。				○	○			○				
2			環境の中に見られる造形的なよさや美しさを感じ取り、自然と美術との関わり、生活や社会を心豊かにする美術の働きについて考え、見方や感じ方を深める。				○	○			○		・映像メディア表現の特質や表現効果などを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 ・環境の中に見られる造形的なよさや美しさを感じ取り、自然と美術との		

教科	科目	単位数	種別	年次	
芸術	書道 I	2	選択科目	2年	
使用教科書	書道 I（教育出版）			担当者	

学習目標	芸術の幅広い活動を通して、各科目における見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。	
学習方法	「表現」の内容は、「漢字仮名交じりの書」「漢字の書」「仮名の書」の三つの分野に分かれます。	
	「鑑賞」においては、古典や作品のさまざまな書美の第一印象による把握を重んじます。	
学習評価	育成を目指す資質・能力	育成を目指す資質・能力の評価内容
	1 基礎的・基本的学力	基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。
	2 課題解決能力	社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。
	3 情報活用能力	多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。
	4 自己表現力	目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。
	5 主体性	課題解決に向け、主体的に追究することができる。
	6 協働性	課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。
	7 自己理解	諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。
	8 社会貢献(社会参画)	地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。
	以上の観点をふまえ、 提出作品を中心に用具・用材の扱いを含めた学習活動への参加態度なども含めて総合的に評価します。	
担当者から	「漢字の書(楷書・行書を中心とする)」「仮名の書」においては古典の名跡をもとに習う臨書で、用筆・運筆、また字形や全体の構成などの基本的な技法を習得します。「鑑賞」においては、古典や作品のさまざまな書美の第一印象による把握を重んじ、各人の感じ方や好みなどを明確にし、また、ほかの見方や鑑賞を知ること、書のよさや美しさを理解する基礎的な力を養います。	

月	大単元	単元(題材)	学習内容	重点評価事項(資質・能力)								単元(題材)の評価規準			評価方法
				1	2	3	4	5	6	7	8	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
4	A 表現	1漢字仮名交じりの書	漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成について構想し工夫する。	○	○		○					【共通事項】 ・用筆・運筆から生み出される書の表現性とその表現効果との関わりについて理解している。 ・書を構成する要素について、それら相互の関連がもたらす働きと関わらせて理解している。 ・用具・用材の特徴と表現効果との関わりについて理解している。 ・名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解している。 ・目的や用途に即した効果的な表現の技能を身に付けている。 ・漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を身に付けている。	・漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成について構想し工夫している。 ・目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現について構想し工夫している。 ・名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫している。	主体的に漢字仮名交じりの書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。	観察、提出作品などを元に評価する。
			目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現について構想し工夫する。	○	○		○								
			名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫する。	○	○		○								
			用具・用材の特徴と表現効果との関わりについて理解する。	○	○		○								
			名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解する。	○	○		○								
			目的や用途に即した効果的な表現技能を身に付ける。	○	○		○								
			漢字と仮名の調和した線質による表現技能を身に付ける。	○	○		○								
7		2漢字の書	古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。	○					○	○		【共通事項】 ・用筆・運筆から生み出される書の表現性とその表現効果との関わりについて理解している。 ・書を構成する要素について、それら相互の関連がもたらす働きと関わらせて理解している。 ・用具・用材の特徴と表現効果との関わりについて理解している。 ・書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 ・古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能を身に付けている。 ・古典の線質、字形や構成を生かした表現の技能を身に付けている。	・古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 ・意図に基づいた表現について構想し工夫している。	主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。	
			意図に基づいた表現について構想し工夫する。	○					○	○					
			用具・用材の特徴と表現効果との関わりについて理解する。	○					○	○					
			書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解する。	○					○	○					
			古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能を身に付ける。	○					○	○					
			古典の線質、字形や構成を生かした表現技能を身に付ける。	○					○	○					
9									○	○					

[illegible]

教科	科目	単位数	種別	年次	
芸術	書に親しむ	2	選択科目	異年次合同	
使用教科書	なし			担当者	

学習目標	芸術の幅広い活動を通して、各科目における見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。	
学習方法	「表現」の内容では「漢字の書」の楷書，行書，草書また篆刻などの用筆・運筆および字形や全体の構成など多様な表現技法を習得する。	
	「鑑賞」においては、古典や作品のさまざまな書美の第一印象による把握を重んじ、各人の感じ方や好みなどを明確にし、また、ほかの見方や鑑賞を知ることで、書のよさや美しさを理解する基礎的な力を養う。	
学習評価	育成を目指す資質・能力	育成を目指す資質・能力の評価内容
	1 基礎的・基本的学力	基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。
	2 課題解決能力	社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。
	3 情報活用能力	多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。
	4 自己表現力	目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。
	5 主体性	課題解決に向け、主体的に追究することができる。
	6 協働性	課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。
	7 自己理解	諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。
	8 社会貢献(社会参画)	地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。
	以上の観点をふまえ、 意欲的・主体的に活動を行い、その喜びを味わおうとしたかを総合的に評価します。	
担当者から	毎時間ごとの課題に取り組む姿勢を重視します。書を通して自分自身と向き合い、表現力を高めていきましょう。授業の総まとめとして、最後に「卒業・修了作品」の制作を最終目標にします。今まで培った技術・表現・感性を総動員して卒業・修了制作にあたります。高校を卒業しても、生涯にわたって書に興味を持ち、愛好する心情を持ち続けていけるようにしましょう。	

月	大単元	単元(題材)	学習内容	重点評価事項(資質・能力)								単元(題材)の評価規準			評価方法
				1	2	3	4	5	6	7	8	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
4	書に親しむ姿勢づくり	書の基本を学ぶ	書の基本を身につけようとし、進んで書に親しむ。	○	○	○						・用筆・運筆から生み出される書の表現性とその表現効果との関りについて理解している。 ・書を構成する要素について、それらの相互の関連がもたらす働きと関わらせて理解している。	書の良さや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や所の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美しさを味わい捉えたりしている。	主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。	観察、提出作品などを総合的に評価する。
4			様々な筆使いを通して、用筆・運筆によって多様な表現ができる。	○						○	○				
4	漢字仮名交じりの書1	豊かな表現の実践	用具・用材によって線質や表現が変わることを理解し、表現を工夫する。	○	○	○						・用具・用材の特徴と表現効果との関りについて理解している。 ・書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 ・基本的な用筆・運筆の技能を身に付けている。 ・漢字・仮名の線質、字形や構成を生かした表現の技能を身に付けている。	・漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成について構想し、工夫している。 ・目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現について構想し工夫している。 ・名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫している。	主体的に漢字仮名交じりの書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。	
4			文字や文字群と余白との関係を理解し、全体の構成を考えた表現の技能を身に付け表す。	○						○	○				
5			芸術的・実用的な表現について基礎的な事項を理解し、主体的に取り組む。			○	○				○				
5			感性を働かせて、自由にのびのびと表現を工夫する。			○	○				○				
5	篆刻・刻字の学習	篆刻の学習	篆刻や落款印に関する知識について理解する。	○	○	○						・用具・用材の特徴と表現効果との関りについて理解している。 ・書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 ・基本的な用筆・運筆の技能を身に付けている。 ・古典の線質、字形や構成を生かした表現の技能を身に付けている。	・古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 ・意図に基づいた表現について構想し工夫している。	主体的に篆刻・刻字の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。	
5			篆刻の基本的な用具・用材に関する知識や扱い方を理解する。	○	○	○									
6			篆刻の表現活動を通して、意図的・主体的に表現することの充実感を味わう。	○						○	○				
6			篆刻の手順・方法を理解し、自らの意図に基づき選文・検字・印面構成の工夫等を行う。	○						○	○				
7			用具の扱い・印稿・布字・運刀・押印等の基本的な篆刻の技法を身につけ表す。			○	○				○				
7			篆刻の美しさと表現効果を味わい、主体的に鑑賞の創造的活動に取り組む。			○	○				○				
8		刻字の学習	刻字の表現活動を通して、意図的・主体的に表現することの充実感を味わう。	○	○	○									
8			用具の扱い、籠字、彫り、着色等の基本的な刻字の技法を身につけ表す。			○	○				○				
9	様々な字体の鑑賞	楷書・行書・草書	楷書・行書・草書の成立について理解すると共に、様々な字体に興味・感心を持ち歴史的位置付けを理解する。	○	○	○						・用具・用材の特徴と表現効果との関りについて理解している。 ・書体や書風と用	・作品の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わってとらえている。	主体的に幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	

[illegible]

